

関ヶ谷市民の森愛護会

第五回役員会における報告事項等のご連絡

平成18年1月11日

「炭焼事業の今後の予定について」

「炭焼小屋」は昨年10月に完成しました。この小屋の周辺は居心地の良い奥座敷の観があります。今年はここに「炭焼窯」を設置することになりますが、炭焼事業の今後の予定などについて、鈴木、日高、平野、澤および戸次氏の炭焼施設の建設に携わる役員の方々に伺ってみました。

司会：立派な小屋が完成しましたが、種々ご苦労があったでしょうね。

澤：組立てる迄の段取りが大変でした。しかし、野口さんの設計図が市販の素材の寸法で書かれていたので、加工の手間はかなり省けました。

平野：組立て段階では、太さの異なる丸太を山の斜面に梁（ハリ）として水平に組むのに苦労しました。何度かやり直しを余儀なくされました。

司会：ご苦労様でした。ところで今後のご予定は？

澤：まず、耐火レンガで窯の土台を築くこと、次いで、ドラム缶を入手し炭焼窯に加工して土台に据え付けることでしょうか。当面は学習することが主ですから、窯は一基でスタートするので十分かと思えます。

鈴木：窯一基でも相当掛りますから予算的にもその方が楽ですしね。

問題は、その後続く環境対策にあります。竹炭を造る時に出る不完全燃焼の煙や匂いをいかに巧く処理するかに懸かっています。その為には、「長い排煙ダクト」を含む「二次燃焼施設」に工夫と予算が必要です。ただ、技術的な問題は、先日、澤さんと二人で「都築中央公園」の同種施設を見学して来て、一応のメドを立てることが出来ました。

残る予算問題については、大口の「二次燃焼施設」の他に、「発電機」や窯の温度管理に必要な「温度計、熱電対」等で、総額四十万円余りが必要です。しかし、幸なことに、この半分近くは「日本財団」の寄付金

で賄えると期待しています。鹿谷副会長のご尽力もあって、昨年同様、近々朗報が齎されると思います。

司会：それは頼もしい限りですね。そうなると、具体的スケジュールは今後どのようになりますか？

澤：年初から三月末にかけては、予算をあまり要しない「土台の構築」と「窯の製作」を中心に作業を進め、四月以降の新年度予算が確定した段階で、「二次燃焼施設」や「発電機、温度計、熱電対等」を購入、設置できれば、六月には火入れが可能になるかと思っています。夏祭りにはぜひ間に合わせたいですね！

戸次：そのスケジュールであれば、材料となる竹を二月中には切り置き、乾燥させる必要があります。出来れば窯の長さ(75cm)に揃えて、半年ほどは寝かせて置くべきです。

また、既に切って野積みにされている竹で腐ってないものは、当面の学習用に利用できますね。

日高：関ヶ谷の竹藪は規模が小さいので、未永く材料を提供して行けるかどうか心配です。

平野：確かに、材料は無限ではないので、例えば、氷取沢にあるような大きな竹藪の間伐を手伝って余った竹を貰って来るとか種々方法はあるかと思いますが。

司会：「二次燃焼施設」が完備され完全燃焼が達成されたとしても、多少は匂いが残りませんか？

また、火入れから二次燃焼が機能する迄の間、短時間とは言え匂いが

出ないとも限らないのではないですか？ 心配です。

戸次：確かに火入れ直後は強力なバーナーでも匂いを完全に消し去れないようです。従って、火入れから完全燃焼迄の時間を極力短くするよう工夫する努力も必要でしょうね。

環境問題は、一旦批判に火が付くと修復不能になりかねないので、最初のスタートが肝心です。

日高：幸いにも、窯の設置場所に地の利を得たと思います。近くの住宅街とは山で遮られているし、向かえの「望見台」ともかなりの距離があるので心配ないと楽観しています。

司会：この他にとくに問題はありますか？

鈴木：実際に炭焼きが始ってからの問題ですが、火を入れ炭が焼きあがる迄に約十時間を要します。その間、窯の管理要員というか、ある程度事情の分る「見張り役」が必要です。しかし、殆どの会員が未経験なので、当初は私共役員が率先してこれに当らざるを得ないかと思っています。その意味で、ここにご参集の皆様方にはご協力の程を宜しく願いしておきたいと思います。

司会：本日はご多用の処有難う御座いました。炭焼事業の本来の目的が間伐材の有効利用にあるということに想いを致して、この事業が有意義なものに育つことを願いつつこの座談会を終えたいと思います。

(H17. 12. 22 収録 司会:宮本)

さて、以下に、平成18年1月7日開催の「第五回定例役員会」で報告された事項等をご連絡します。

[I] 今後の活動スケジュール

1月14日(土)	自主活動日(世話人：池田相談役)
22日(日)	公式活動日(作業内容：間伐、炭焼施設など)
2月11日(土)	自主活動日(世話人：日高副会長)
26日(日)	公式活動日(作業内容：間伐、炭焼施設など)
3月11日(土)	自主活動日(世話人：鈴木会長)
26日(日)	公式活動日(作業内容：間伐、炭焼施設など)

[II] 今後のパトロール予定

1月 8日	外山カオル	塩山 裕子
15日	斉藤 和子	門田 教与
22日	宮本 久美	宮本 英利
29日	平野 利治	飯野 光吉
2月 5日	澤 文子	澤 邦彦
12日	池田 陽一	板垣 幸雄
19日	加藤 文明	二神 純
26日	戸次 明子	戸次 鎮治
3月 5日	山口精一郎	梁瀬 勉
12日	立川 成江	小倉 征子
19日	入部 信寿	吉川 征治
26日	松原 勉	古賀 卓郎

(注) パトロール結果は、必ず、鹿谷副会長にご報告下さい。連絡先は以下の通りです。

「電話又はファックス」による場合： 電話又はファックス番号 「×××-××××」

「パソコンでのメール」による場合： アドレス

[Ⅲ] クラブ等の活動状況

(1) 炭焼施設建設業務

前文の「座談会」をご参照下さい（この内容は役員会で合意済）。

(2) 各クラブの活動状況

①「ホテル復活クラブ」

市当局に対し、鹿谷副会長に、二度に亘る折衝を行って戴きました。折衝の結果は、先方の次のような発言の通り極めて有望なものでした。

イ.平成17年10月18日 折衝先：環境創造局水緑管理課（半田係長、長嶋係員）

昨秋は台風被害が重なった為、復旧工事に水路関係予算の大半を費やし、お約束のプラン全体にまでは手が回らなかった。しかし、当初の計画を断念したわけではない。昨年提示した「サンクチュアリー池の設置」等、新たなプランの具体化は平成18年度以降の課題として認識している。また、例えば、水路上端のコンクリート笠石を剥がしウルオンボードと水路脇の雑草とをスムーズに接するようにする他、水路底面を土砂等で嵩上げし水面を高めるなどの小規模予算でこなし得る改修事業は、引き続き今年度予算で実施したいと考えている。近く、金沢土木事務所と共に、実施計画を打ち合わせたい。

ロ.平成17年12月5日 折衝先：環境創造局水緑管理課（半田係長、長嶋係員）および 金沢土木事務所（宮本係長、水野係員）

前回のお約束に従い、今年度下半期なんとか百万円を捻出して改修工事の一部を実施に移すことにした。施工区間は、現在テストとしてボードを貼り付けてある約10mの区間とし、施工内容は次の通りとする。

- (a) 施工区間の水路上端のコンクリート笠石を撤去する
- (b) 関東学院大学方向からの配水管と合流する地点の川上を堰止め、水深10cm程度を確保できるまで水位を上げる
- (c) 施工区間の川底を嵩上げするため川底にブロック積を施し、土砂を入れて水流を片側に寄せる
- (d) 施工区間のはく離しているボードの手直しをする、など

具体的スケジュールとしては、1月中にも業者説明を終えて、それ以降数日間で工事を完了させたい。

なお、上記施工地域は、確かに、水量が少なく日当たりも良くないところから、柵頼先生等専門家の所見では必ずしも適所適条件とは言えないとの厳しい見方もありますが、しかし、現段階では、一貫して前向きに対処して下さっている市当局のご判断を尊重し、そのご方針に沿って協力して行くことが適切ではないかとの合意に達しました。

②「園芸クラブ」

クラブ会員が各自の自宅で発芽させ、日高さんの温室で成育させた美しい「パンジー」は11月12日の活動日に、また、日高さんからご奇贈戴いた「葉牡丹」は27日の活動日に、それぞれ「いこいの広場」に移植され、寒い冬空の下で市民の目を楽しませてくれています。なお、この移植には、昨年皆で準備した落ち葉の堆肥が絶大なる効果を発揮してくれました。

③「木工クラブ」

専ら「炭焼施設」の建設に協力していますが、昨年暮れの12月26日の活動日には、「かなざわ森沢山の会」の惣元氏のご指導を得て、有志で竹製の「門松造り」に挑戦し、多大の成果を挙げました。「ものを作る」と言うことはとても楽しいことです。ぜひ来年もとの声しきりでした。なお、惣元講師作成の門松は、いつもお世話になる「山の手自治会館」に奇贈され、同自治会長から大いに感謝された次第です。

[IV] その他

(1) 「横浜自然観察の森」による炭焼活動の見学会

今後の活動の参考にするため、「横浜自然観察の森」の中にある「炭焼施設（炭焼きの実演を含む）」と「源氏ホテルの生息地（いたち川沿い）」を、以下により、見学することにしました。寒さ厳しい折ですがハイキングを兼ねて行きましょう。（雨天中止）

見学日時： 平成18年2月4日（土曜日）午前9時から午後2時頃迄
集合場所と時間： 西金沢中学校正門（投票所入口）前に午前9時
持物と服装： 簡単な昼食と飲み物を持参し、ハイキングスタイルで
説明要員： 渡邊初恵さん（自然観察の森所属のレンジャー）
世話係り： 澤（炭焼事業リーダー）および宮本（総務担当）

(2) 次回定例役員会等

次回定例役員会は、3月4日（土）午後7時、「山の手自治会館」で開催されます。そこでの主な議題は、「第四回定期総会」の開催時期や運営に関することとなります。

また、かねてお待ち兼ねの「ホームページ」が立ち上がりました。「関ヶ谷市民の森」で検索戴くと簡単にアクセス出来ます。また、インターネット上のアドレスは次の通りで、既に四百近いアクセスがあります。ぜひ、ご一覧下さい

「<http://www7a.biglobe.ne.jp/~sekigayashiminnomori/>」

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲
(文責： 総務担当 宮本 英利)